

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

神奈川県

学校名

藤沢総合高等学校

人権課題

子ども

対象学年・  
取り扱った教科等

2・3年国際理解

目標・人権教育のねらい

子どもをめぐる世界的な課題について考える。さらに、自分たちの足元から取り組めることについて学び、行動に移すことができることを目指す。

実施した内容

子どもの貧困と支援に関する探究的学習（2時間）  
「gapminder」サイトから、子どもの就学率・識字率等について1日当たりの所得との相関性をふまえながら各自が分析し相互発表を行った。さらに貧困解決のためのNPOの支援の取組みについて学び、自分たちができることについて考察した。

工夫した点

内容について、校内の学習成果発表会で紹介したり、自分たちができる支援について、掲示ボードを作成し校内周知を図るなど、発信する取組みにまで繋がった。

他教科との  
関連

「現代社会」「世界史」における児童労働の問題、「家庭基礎」における栄養や児童福祉の課題と関連付けて授業を展開した。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

神奈川県

学校名

藤沢総合高等学校

人権課題

女性

対象学年・  
取り扱った教科等

2・3年 世界史A

目標・人権教育のねらい

女性の人権について歴史的事象から学び、その拡大は20世紀以降が中心であることを理解する。また女性の社会進出が進み、多様な生き方を選択する女性が増加したことにも気付かせる。

実施した内容

第一次世界大戦と女性の社会進出の授業（1時間）

- ・「総力戦」について
- ・「労働力の確保」と女性の社会進出、権利向上

工夫した点

当時の映像を視聴することにより、生徒が実感をもって理解を深めることができるようにした。また実際に資料集に登場するチャンネルの生涯についてスライドを作成し紹介することで、女性の社会進出についてより身近なものとして考えさせるようにした。

他教科との  
関連

産業社会と人間の授業において働く人に話を聞く単元があり、様々な職場において活躍している女性も多く、講師となっていており、複合的に考えさせる契機となった。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

神奈川県

学校名

藤沢総合高等学校

人権課題

障害者

対象学年・  
取り扱った教科等

1年次 産業社会と人間

目標・人権教  
育のねらい

同世代の多様な人間との関わりを通じて、他者理解を深めるとともに、社会への関心を高める。

実施した内容

鎌倉養護学校・藤沢養護学校の支援担当教諭による出張授業の実施。  
(事前1時間、当日2時間) 内容としては、それぞれの学校の学び、  
学校生活、配慮していること、簡単なアクティビティ。

工夫した点

クラスを2分し、それぞれの特別支援学校の話聞いた後、お互いに  
伝え合う活動を行うことで、主体的で深い学びにつなげた。また、体  
験的活動を入れることで、相手に配慮すべきことについて、経験的に  
学ぶことを目指した。

他教科との  
関連

2年次以降に行われる課題研究や、2年次以降の選択科目である「社会福祉基礎」「児童  
福祉」等への選択意識を高めた。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

神奈川県

学校名

藤沢総合高等学校

人権課題

アイヌの人々

対象学年・  
取り扱った教科等

2年次 課題研究

目標・人権教育のねらい

- アイヌ文化への理解を深めるとともに自己の人権意識の向上を図る。
- ・ 課題研究においては、研修旅行の事前学習とすることで、現地での学習効果を高める一助とする。
  - ・ 研修旅行においては、「ウポポイ」の見学により、より深くアイヌについて理解を深める。

実施した内容

- ・ 研修旅行に向けたアイヌ文化学習会としての出張授業の実施。（事前1時間、当日2時間）内容は①アイヌ地名等に関する講演 ②歌と踊りの披露と解説、体験 ③切り絵の実演と体験。④振り返り
- ・ 「ウポポイ（民族共生象徴空間）」見学

工夫した点

- ・ 実際にアイヌ文化財団より講師を派遣していただくことで、本物に触れることを重視した。また、実際に生徒が体験することで、より学びを深めることを目指した。
- ・ より深い学びとなるよう、事前に学んだことと関連付けて見学することを意識した。

他教科との  
関連

「現代社会」での法の下での平等単元、及び「日本史A」における明治史単元で扱われる内容を踏まえて、事前ワークシートの作成を行った。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

神奈川県

学校名

藤沢総合高等学校

人権課題

外国人

対象学年・  
取り扱った教科等

2・3年 国際理解

目標・人権教育のねらい

総合学科高校の特色である外部の教育力を活用して、体験的に多文化共生について学ぶ。

実施した内容

外語ビジネス専門学校の留学生（東南アジア諸国）を招いて合同授業の実施。（事前学習1時間、当日2時間）具体的内容としては、カードゲームを通じたアイスブレイク、カフェトークを通じた相手国の生活について、本校生徒からの藤沢近辺の観光ポイントのプレゼンテーションなど。

工夫した点

専門学校の方に講師（ファシリテーター）となっただき、実際の留学生とゲーム等のアクティビティを通じて体験的に学んだ。実際に外国人と関わることで、調べるだけでは分からない多くのことを学ぶことを目指した。

他教科との  
関連

「産業社会と人間」における多文化共生に係る単元、A F Sを通じたブータンからの留学生の受け入れを通じた特別活動等に関連した、経験的な学びのひとつである。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

神奈川県

学校名

藤沢総合高等学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・  
取り扱った教科等

1年次 LHR

目標・人権教育のねらい

SNSの適切な利用について、外部の教育力を活用して学ぶ。

実施した内容

スマートフォン安全利用教室の資料を活用した学習。（1時間）  
 ・ SNSの安全な利用 ・ 利用時のプライバシーや個人情報  
 ・ 人権への配慮について などの内容

工夫した点

外部の方による講演を企画していたが、新型コロナウイルス感染症のまん延により、中止となった。そのため、教員が講演資料を基に学び、各担任がクラスでスマートフォン安全利用教室の授業を行った。

他教科との  
関連

「現代社会」や「社会と情報」における個人情報やプライバシーの単元と合わせてこいく効果の向上を期待した。また、日常生活の指導においても繰り返し伝えるべき内容であった。

## 令和3年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

都道府県・  
指定都市名

神奈川県

学校名

藤沢総合高等学校

人権課題

性的指向、性自認

対象学年・  
取り扱った教科等

3年次 政治経済

目標・人権教育のねらい

お互いの個性を尊重しながら、自分らしく生きるための力を醸成する。

実施した内容

法の下での平等と多様性に関する授業（1時間）

工夫した点

「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」で制定されたパートナーシップ条例を題材として、多様性の尊重について考察させた。

他教科との  
関連

1年次「現代社会」、「家庭基礎」の発展的内容として取り組んだ。